

## コムギとダイズの кадミウム濃度をイムクロマト法で簡易に測定

### 【1 成果概要】

- (1) イムクロマト法は、イムクロマトキット(製品名:カドミエール)を使用して、コムギ玄麦やダイズ子実の кадミウム濃度を簡易に測定でき、迅速にスクリーニングすることができる技術です。
- (2) 本法は、ドラフト設備や高額な分析機器を必要とせず、1工程およそ5時間で測定できるため、出荷前の кадミウム自主検査に利用可能です。

### 【イムクロマト法での測定方法は?】

本法は、イムクロマトキットを用いて図1の手順で кадミウム濃度を測定します。

イムクロマトキットは希塩酸、分離カラム、乾燥抗体入りバイアル、中和用緩衝液、カドミウム標準液、カルチャーチューブ、イムクロマトデバイスで構成されます。

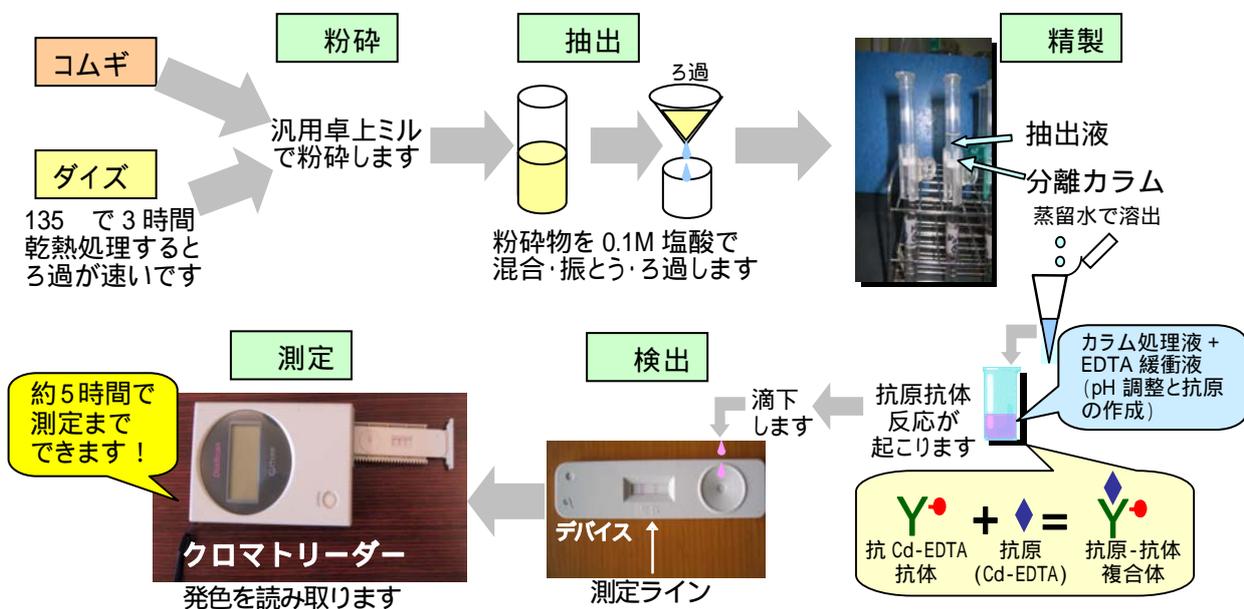


図1 イムクロマト法の測定手順

### 【イムクロマト法の測定結果は?】

イムクロマト法は、原子吸光法の測定結果とほぼ一致しています。

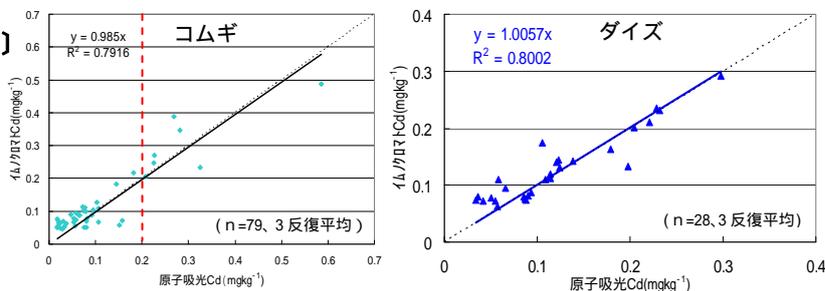


図2 コムギ及びダイズの кадミウムの原子吸光測定値とイムクロマト測定値との関係  
注) Codex 国際基準値: コムギ 0.2mgkg<sup>-1</sup>

### 【2 留意事項】

- (1) 本分析に要する試薬の費用は1検体当たり1,500円で、別途、振とう機(卓上)、クロマトリーダー、マイクロ・マクロピペットが必要です。
- (2) 基準値付近の試料で正確な判定を要する場合は、機器分析での再測定が必要です。

### 【3 適応対象】 出荷団体等

担当研究室 環境部 生産環境研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4422 FAX. 0197-71-1085